

EA21 環境経営レポート

2025年度

対象期間：2025年4月～2026年3月



中国水工株式会社



2026年5月30日発行

目 次

■ 会社概要	1
■ S D G s の取組	4
■ 課題とチャンス	9
■ 環境経営方針	1 0
■ 実施体制	1 1
■ 中期環境経営目標	1 2
■ 環境経営目標と実績	1 3
■ 環境経営計画、取組結果と評価、次年度の取組内容	1 4
■ 環境法令の遵守	3 0
■ 代表者による評価	3 2



ちゅうすいくん



すいこうちゃん

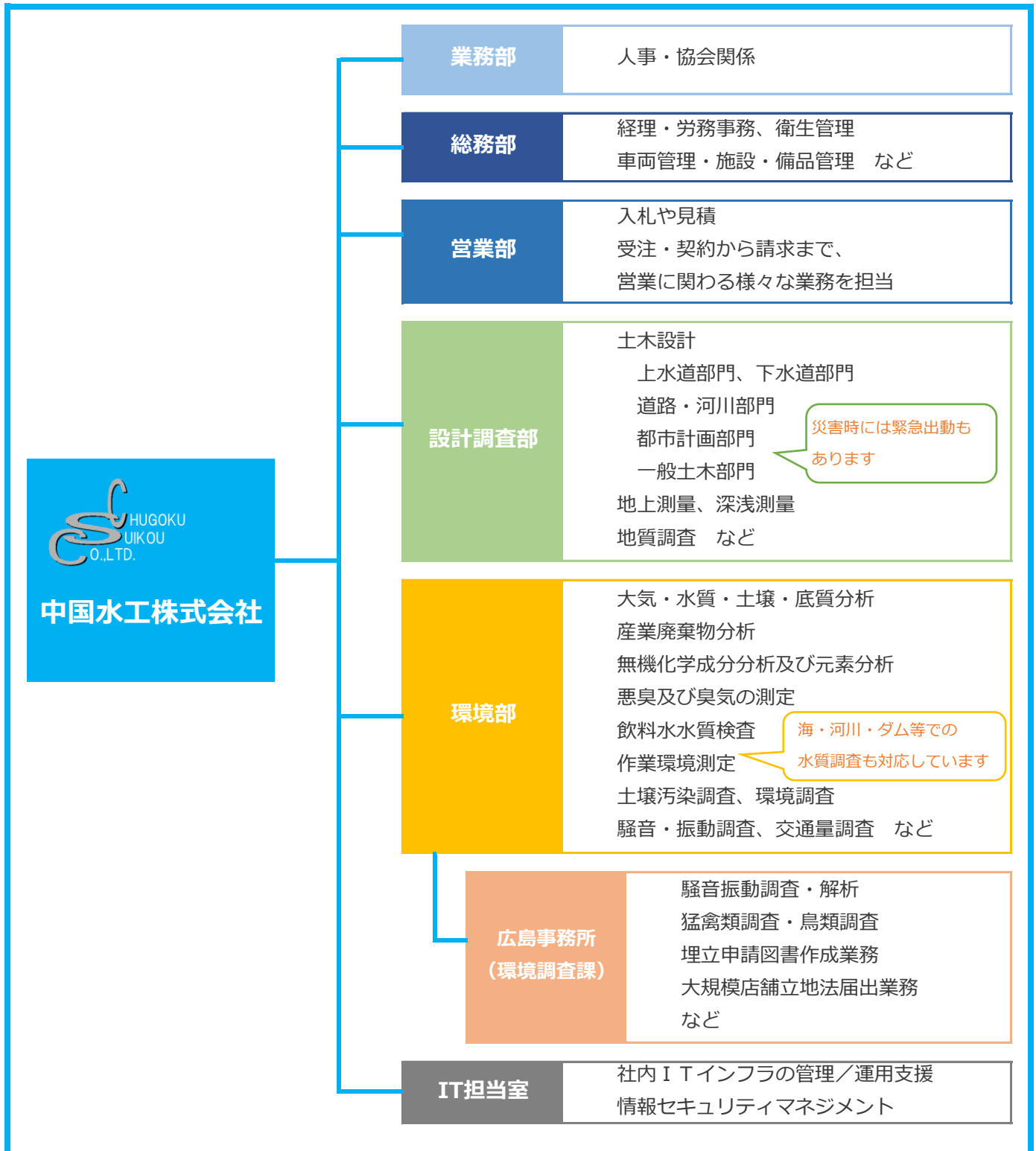
会社概要

会 社 名	中国水工株式会社				
代 表 者	代表取締役 石崎 一雄				
設 立	1972年1月10日				
事 業 所	本 社	〒755-0152 山口県宇部市あすとぴあ二丁目1番25号			
	広 島 事 務 所	〒733-0035 広島市西区南観音八丁目5番26号			
問 合 せ 先	T E L	0836-52-8810（代表）			
	F A X	0836-52-8101（代表）			
	E - m a i l	csc@chu-sui.co.jp			
	H P	http://chu-sui.co.jp/			
環 境 管 理 責 任 者	総務部 係長 津崎 美佳				
担 当 者 及 び 連 絡 先	総務部 係長 津崎 美佳（E-mail：m.tsuzaki@chu-sui.co.jp）				
事 業 登 録	建 設 コ ン サ ル タ ン ト	上水道及び工業用水道部門	建06第3184号		
		下水道部門			
		建設環境部門			
		河川、砂防及び海岸・海洋部門			
		道路部門			
		地質部門			
		鋼構造及びコンクリート部門			
	測 量 業	登録第(13)-4409号			
	地 質 調 査 業	質04第2040号			
	一 級 建 築 士 事 務 所	山口県知事登録 第3035号			
	計 量 証 明 事 業	濃度	山口県第35号		
		音圧レベル	山口県第65号	広島県K-117号	
		振動加速度レベル	山口県第91号	広島県K-118号	
	建築物飲料水水質検査業		山口県56水 第200の3の7号		
	作業環境測定機関		35-20		
土壌汚染対策法指定調査機関		2007-6-3021			
事 業 規 模	資本金：2,000万円				
	売上高：7.3億円（2024年度実績 2024年4月～2025年3月）				
	8.5億円（2025年度予想 2025年4月～2026年3月）				
	従業員数：76名				
	延べ床面積：1999.12m ² （本社）				
事 業 年 度	4月～3月				

認証・登録の対象範囲（全組織・全活動）

登録組織名	中国水工株式会社
対象事業所	本社、広島事務所
事業活動	建設コンサルタント業、測量業、地質調査業、 計量証明業（濃度、音圧レベル、振動加速度レベル）、建築物飲料水水質検査業、 作業環境測定、土壌汚染調査

組織図



設計調査部

●上水道部門

上水道、簡易水道、工業用水道、営農飲雑用水の調査、計画、設計、技術監理ならびに技術指導、水道台帳作成

●下水道部門

下水道の調査、計画、設計ならびに技術指導、下水道台帳作成

●道路・河川部門

道路・河川、砂防及び海岸・海洋の計画、設計および橋梁の調査、計画、設計

●都市計画部門

都市計画、地域開発の調査、計画および公園の計画、設計

●一般土木部門

不燃物処理施設、農業土木および各種土木構造物の調査、計画、設計

●測量部門

地上測量、深淺測量

●地質調査部門

ボーリング調査、土質試験、解析



水道管設計



橋梁点検

環境部

●環境分析

大気・水質・土壌測定分析、底質・汚泥・産業廃棄物分析、悪臭・臭気分析、環境アセスメント、室内微粒子測定

●無機化学成分分析および元素分析

鉱石類等の分析、耐火物の分析、金属地金類の分析、試金分析、各種メッキ液および溶液類の分析等

●飲料水水質分析

●作業環境測定

特定化学物質関係、金属関係、有機溶剤関係、粉じん関係、騒音、その他

●環境調査

騒音・振動調査、水質・底質調査、環境影響評価、猛禽類調査、鳥類調査、哺乳類、両生・爬虫類調査

●土壌汚染調査

土壌汚染対策法に基づく指定調査機関、土壌汚染調査

土壌汚染対策法に係る調査物質の測定分析、改良土、再生砂等の六価クロム溶出試験

●計画

環境管理計画、埋立申請図書作成業務、大規模店舗立地法届出業務



大気測定



海洋（水質）調査



土壌汚染調査

～総合建設・環境コンサルタントとして「高い信頼と評価」を得られるように
企業価値の向上に努め地域社会に貢献します～

「SDG s ～持続可能な開発目標～」の取組

事業内容から見たSDGs

設計調査部



- 土木設計業務
- 測量調査業務
- 地質調査業務
- 施設点検業務



- 農業土木設計業務
(持続可能な農業生産システムの構築)
- 農業用水の分析
(持続可能な農業の促進)



- 上下水道設計業務
- 各種水質分析



- 有害化学物質分析
- 大気・水質分析
- 土壌汚染調査



- バイオマス燃料の分析
- 大気測定



- 災害対応業務
- 防災関係業務
- 大気分析
- 騒音・振動調査



- 災害対応業務
- 防災関係業務
- 環境測定



- 下水道設計業務
(水質保全)
- 港湾での環境調査
- 生物調査
(持続可能な農業の促進)



- 大気・水・土壌
(化学物質や廃棄物)
の分析



- 猛禽類調査
(陸上生態系保全)

環境部

業務以外でのSDGs



社員の健康づくりに関して

- ★やまぐち健康経営企業（山口県主催）に認定
- ★やまぐち健康応援団（山口県主催）に登録
- ★がん検診受診促進協力事業所（山口県主催）に登録
- ★スポーツ元気県やまぐち推進団体（山口県主催）に認証
- ★宇部市SDGs未来共創企業（宇部市主催）に登録
- ★健康経営優良法人2026（中小規模法人部門）（日本健康会議主催）に認定
- ★AEDの設置
- ★定期健康診断で女性は40歳未満でも希望すれば会社負担で乳がん検診の受診可
- ★インフルエンザ予防接種の費用補助制度
- ★置き型社食（オフィスでやさい、オフィスでごはん）の設置
- ★毎月産業カウンセラー来社
- ★昼休みのラジオ体操実施（自由参加）

国民の医療を支える

- ★献血サポーター（日本赤十字社主催）に参加登録
- ★献血バスの誘致

協力できる社員や地域の方が献血に参加します



学生の体験学習の協力に関して

- ★やまぐち教育応援団（山口県教育委員会主催）に登録
- インターンシップや中高生の職場体験など、積極的に受け入れています



青少年の健全な育成に関して

- ★家庭の日協力事業所（山口県青少年育成県民会議事務局主催）に登録

環境教育として

- ★社外研修の受講
- ★月に1回、環境セミナーを実施
- ★HPに環境コラムを毎月掲載

バックナンバーもありますので是非ご覧ください！



大田啓一先生



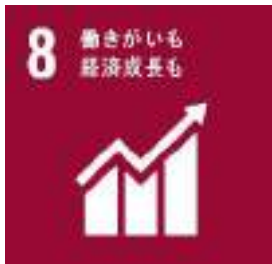
三浦房紀先生

大田啓一先生を2018年5月より弊社の環境アドバイザーとしてお迎えし、
三浦房紀先生を2025年8月より弊社の技術顧問（土木工学）としてお迎えしました
業務のアドバイスだけでなく、沢山の知識をもとに教育を行っていただいております



男女ともに働きやすい職場づくりに関して

- ★やまぐち男女共同参画推進事業者（山口県主催）に認証
- ★宇部市女性活躍推進企業（宇部市主催）に認証
- ★やまぐち子育て応援企業（山口県主催）に登録
- ★やまぐち結婚応援企業（山口県主催）に登録
- ★やまぐち女性の活躍推進事業者（山口県主催）に登録
- ★一般事業主行動計画（次世代法）策定 **現在3期目です**
- ★一般事業主行動計画（女性活躍推進法）策定 **現在2期目です**
- ★2021年、くるみに認定
山口県の学術研究、専門・技術サービス業での認定は初です
- ★2023年度より女性事務職の事務服着用義務廃止
女性が意欲的に生き活きと仕事ができる環境を目指します
- ★2023年、プラチナくるみに認定
- ★やまぐち"とも×いく"応援企業（山口県主催）に登録



社内親睦

- ★社員互助会

互助会では、慰労会や旅行などの親睦行事を行っています。



働く環境を整える

- ★就業規則の改正

社員の働きやすさを考え、適時見直しています。

法律で定められた基準以上の短時間勤務制度や、

パートタイマーにも時間単位の有給休暇制度を導入するなど、

誰もが働きやすい企業を目指しています。

- ★ノー残業デー

毎週水曜日をノー残業デーに設定しています。

協会一斉ノー残業デーに参加し強化月間を設定することで、

改めてノー残業の意識を高めています。



1. 取組の背景（IT担当室設置による業務改善）

中国水工株式会社では、業務の効率化と持続可能な事業運営を実現するため、2020年にIT担当室を設置しました。以降、「ITによる業務標準化・自動化」を継続テーマとし、**紙資源の削減・人的ミスの防止・業務時間削減**といった具体的成果を上げています。これらの取組は、環境負荷低減と生産性向上の両立を実現するものであり、SDGs目標9に掲げる“産業基盤の強化と技術革新”に直結する取組として位置付けています。

2. これまでの主な取組と成果

IT担当室設置以降、以下の業務改善を段階的に実施し、

「**作業の削減」「ミスの防止」「省資源化」といった効果を得ています。

★社内書類の電子化の推進

各種社内書類を電子化することで、紙使用量を大幅に削減しました。決裁業務が迅速化され、2024年施行の電子帳簿保存法にも追加対応を要することなくスムーズに移行できました。

★分析業務のデジタル化・自動化

試料のバーコード管理および分析器PCのサーバ接続により、受付から報告書作成までの一連の作業をデータ連携しました。これにより、手書き転記作業を削減し、転記ミスや分析漏れの防止につながっています。

★試薬（毒物・劇物）の管理高度化

試薬管理をバーコード化することで、在庫状況の把握が容易になり、適正管理と管理業務の省力化を実現しました。

★多拠点・社外連携の強化

Web会議やリモート接続環境の整備により、本社・広島事務所間や顧客との移動を削減しました。これにより、出張旅費の削減と業務時間の有効活用につながっています。

★バックオフィス業務の効率化

給与明細の電子化、請求書・送付案内・宛名シール作成の自動化、FAX送受信の電子化により、紙使用量の削減と事務作業時間の短縮を実現しました。

3. 新たな取組（2025年度：AI活用・デジタル人材育成）

★Microsoft Copilotの全社導入によるAI活用推進

2025年度より、規程15「AI活用ガイドライン」を施行するとともに、全社・全部署でMicrosoft Copilotを利用できる環境を整備しました。これにより、情報セキュリティや著作権等に配慮した安全かつ適切なAI活用のルールを明確化し、特定の担当者に依存することなく、全社員が安心してAIを業務改善に活用できる体制を構築しています。

主な活用効果は以下のとおりです。

- ・会議議事録の自動作成・要約による作業時間削減
- ・業務自動化プログラム作成支援によるDX内製化促進
- ・報告書・資料作成の効率化と品質の均一化
- ・AI活用方針の明確化とデジタル人材育成

AI活用ガイドラインの施行にあわせ、AIを「一部の専門担当者のツール」ではなく

「日常業務を支援する共通基盤」と位置付けました。AI活用を通じて、

社員一人ひとりのデジタルリテラシー向上を図り、

業務改善を自ら考え実行できる デジタル人材の育成と業務改善の自走化 を進めています。

4. 今後の展望

今後もIT担当室を中心に、AIやIT技術を活用した業務改善を継続し、取組事例を社内で共有・横展開していきます。これにより、環境負荷のさらなる低減と生産性向上を両立させ、SDGs目標9「産業と技術革新の基盤をつくろう」の達成に継続的に貢献していきます。



ボランティア委員会による資源ごみのリサイクル

- ★コピー用紙空き箱の回収箱設置
- ★使用済みコピー用紙は全てシュレッダーにかけるよう社内ネットワークで呼びかけ
空き箱や使用済みコピー用紙はリサイクルのため、全て資源ごみとして排出しています

資格支援委員会による資源ごみのリサイクル

- ★ペットボトルキャップの回収
自動販売機の横と、ペットボトル用ゴミ箱の横に回収箱を設置しました。



社内の目安箱

- ★改善提案制度
要望や改善提案を随時受け付けています。
出された提案は改善委員会で協議し、
担当委員会や部署を決定します。
マスコットキャラクター「ちゅうすいくん・すいこうちゃん」も、
ここから誕生しました



地域活性化

- ★宇部まつりへの参加
地元宇部市のお祭り「宇部まつり」の「華創パレード」に新光産業グループで団体参加しています。家族も含め、お揃いのハッピーを着て、宇部市の郷土民謡「南蛮音頭」を踊りながら行進します。

★やまぐちメタワールド3への出展

2025年9月～2026年3月まで、若い世代に向けた様々なコンテンツで山口県内のお仕事や魅力などをゲーム感覚で学べるメタバースに当社も出展しました。



宇部まつりの様子



やまぐちメタワールド3での当社サムネイル

課題とチャンス

経営における課題（事業上の弱み、問題点等）

内部に起因するもの

- ①**人材不足**（社員の高齢化、技術の継承）
→いい人材を採用・育成
- ②**設備の老朽化**
→新社屋で徐々に更新
- ③**ミス、手直し、手戻り**
- ④**IT技術の遅れ**
- ⑤**事業の硬直化**
→少しずつ新しいことへ
鋼構造、コンクリートの資格
→橋梁等の社会インフラ点検等業務の受注（計画）
・**交通事故ゼロ**

外部に起因するもの

- ①**顧客（公共・民間）要求の変化に応ず対応**
- ②**異常気象による災害の増加**
→仕事増加、対応していきたい
- ③**5G本格導入**
 - ・環境関連法その他法令の変化に応ず対応
 - ・入札要件の変化に応ず対応
 - ・交通事故ゼロ
 - ・温室効果ガス排出量の削減
 - ・廃棄物のリサイクル

経営におけるチャンス（事業上の強み、有利な点等）

内部に起因するもの

- ①**設備導入による効率化** →IT担当室
新規事業への取組（外部のシステム開発等、
橋梁点検（国の方針）等）
- ②**組織力の強化**
- ③**コスト削減**
- ④**品質の向上**
- ⑤**若手社員の育成**：勉強会、指導の実施
- ⑥**IT技術導入による効率化**
情報伝達のスピード化
リモートの導入
・**職場環境の改善**
・**社屋移転に伴う事業効率化、新規事業展開**

外部に起因するもの

- ①**技術力の向上**
- ②**顧客要求に応えることによる信頼性**
- ③**CO2を吸収する海藻養殖の研究**
→本格的陸上養殖
- ④**気象情報の収集による災害対策**
- ⑤**資格取得により新規参入**：
（鋼構造、コンクリート）
 - ・廃棄物のリサイクルによる燃料化
 - ・同業他社との差別化
 - ・IT技術を活用し、スピーディな情報提供

環境経営方針

基本理念

環境問題、地球温暖化の防止に取り組み、人間と自然が共生できる環境の創造と持続的発展が可能な社会づくりに貢献いたします。

行動指針

環境マネジメントシステムを確立し運用することによって、環境経営の継続的改善に取り組むと誓約します。

1. 法的規制等の遵守

環境関連法、規制、協定及びその他の要求事項を遵守、環境負荷の低減、環境汚染の防止に努めます。

2. 温室効果ガス（二酸化炭素）排出量の削減

新社屋の建設に伴い太陽光発電や太陽熱温水器の導入を行いました。今後も節電機器の使用やガス不使用の機器の導入に努め、燃料使用量を削減し温室効果ガス及び経費の節約に努めます。

3. 廃棄物の発生抑制・削減と再生利用リサイクルの促進

廃棄物の減量化、再利用、リサイクルを促進し、廃棄物排出量の削減に努めます。

4. 水使用量の削減

水資源有効利用のための施策を広め、使用量の低減に努力し普及いたします。節水型の機器の導入に努めます。

5. 事業内容の環境配慮・内外コミュニケーション啓発活動の促進

積極的に環境配慮の方針をたて、顧客各位に方針を理解していただき環境に配慮した社会資本整備に努めます。また、環境教育を通じて全従業員の意識向上を図ります。

6. 感染症対策及び働き方改革

感染防止の徹底やIT技術の導入によりリモートワークを推進し、働き方改革を推し進め全体として効率化を図ります。

7. SDGsの推進

SDGsが掲げる持続可能な開発目標を意識し、総合建設・環境コンサルタントとしてSDGsの実施を推進していきます。さらに新規事業として、二酸化炭素吸収を行う食用の海藻を育てる研究を行います。



2015年9月1日 制定

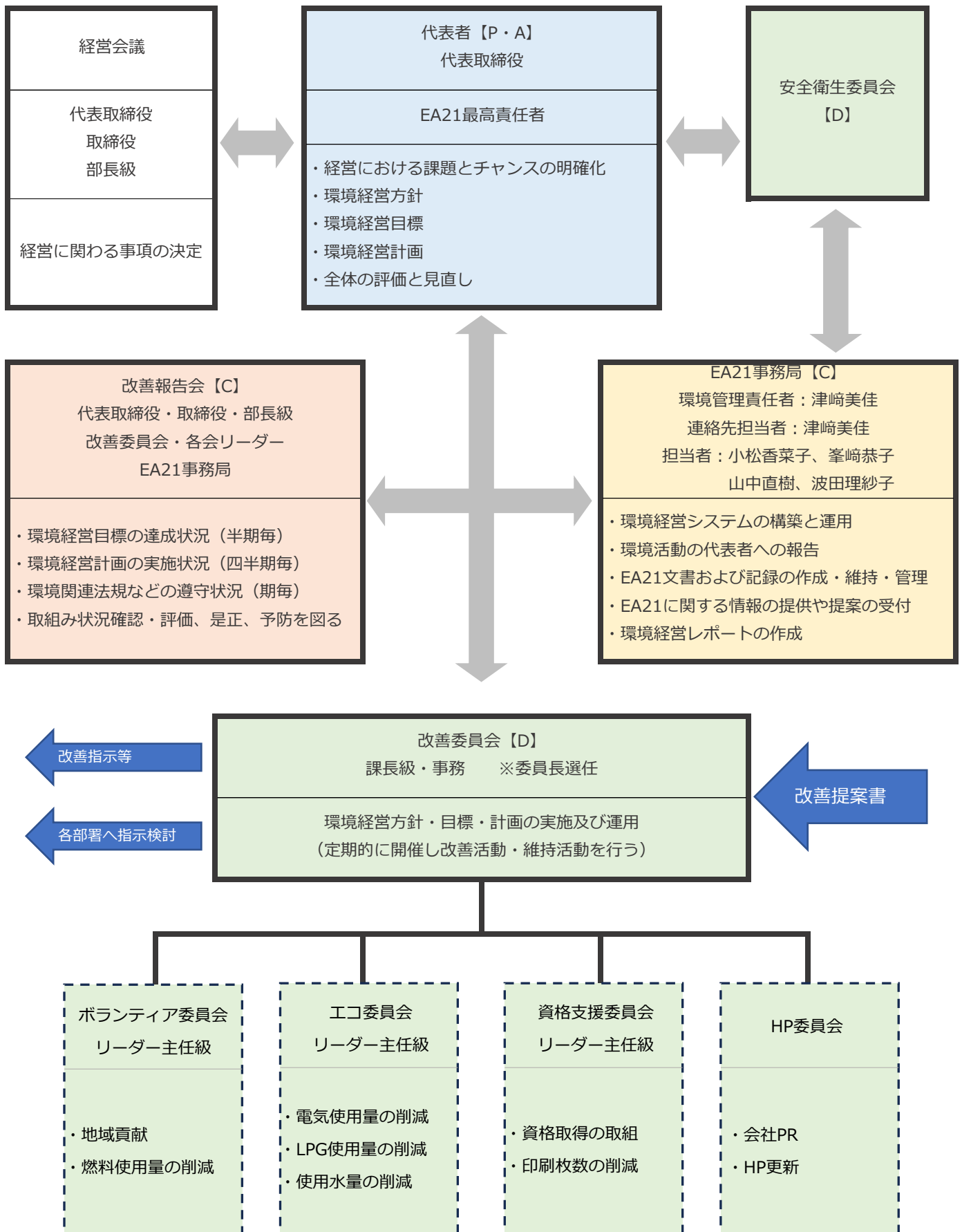
2022年10月1日 改定

中国水工株式会社

代表取締役

石崎一雄

実施体制



※40歳以下の社員全員参加、会の名称は自由

2025年4月1日 委員会再編

中期環境経営目標

環境目標			単位	基準年度	目標		
				2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
1	二酸化炭素排出量の削減		kg-CO ₂ /百万円/人	3.13	基準年度△1% 3.10	基準年度△2% 3.07	基準年度△3% 3.04
			kg-CO ₂	169,294	167,601	165,908	164,215
	1-1	電気使用量の削減	kWh/百万円/人	3.76	基準年度△1% 3.72	基準年度△2% 3.69	基準年度△3% 3.65
			kWh	203,231	201,199	199,166	197,134
	1-2	燃料（ガソリン）使用量の削減	ℓ/百万円/人	0.454	基準年度△1% 0.449	基準年度△2% 0.445	基準年度△3% 0.440
			ℓ	24,505	24,260	24,015	23,770
2	印刷枚数の削減 （廃棄物排出量の削減）		枚/百万円/人	6.74	基準年度△1% 6.67	基準年度△2% 6.61	基準年度△3% 6.54
			枚	364,217	360,575	356,933	353,290
3	使用水量の削減		m ³ /百万円/人	0.0256	基準年度△1% 0.0253	基準年度△2% 0.0251	基準年度△3% 0.0248
			m ³	1,381	1,367	1,353	1,340
4	資格取得の取組（取得率）		%	8.6%	9%	9%	9%
5	地域貢献		件数	6件	9件	9件	9件
6	会社PR		件数	4件	3件	3件	3件
7	安全運転推進（無事故無違反）		件数	3/3件 (100%)	3/3件 (100%)	3/3件 (100%)	3/3件 (100%)

※赤字は売上高/従業員数を分母とした原単位での数値。2024年度売上：730百万円、従業員数：74人

※分析用試薬等で毒劇法・P R T R法対象化学物質を使用していますが、年間取扱量が少なく、かつ、JISによって定められた必要使用量を適正管理をしているため、化学物質使用量削減の目標は掲げません。

※LPG使用量は、元々二酸化炭素排出量に占める割合が小さかつ新社屋移転後分析室のみでの使用になったため評価項目からは外します。

環境経営目標と実績

環境目標			単位	2024年度 基準年度	2025年度	
				(実績)	目標 (実績)	達成区分
1	二酸化炭素排出量の削減		kg-CO ₂ /百万円/人	(3.13)	△1% 3.10 (2.95)	○
			kg-CO ₂	(169,294)	167,601 (159,427)	○
	1-1 電気使用量の削減	kWh/百万円/人	(3.76)	△1% 3.72 (3.59)	○	
		kWh	(203,231)	201,199 (193,776)	○	
	1-2 燃料（ガソリン）使用量の削減	ℓ/百万円/人	(0.454)	△1% 0.449 (0.417)	○	
		ℓ	(24,505)	24,260 (22,526)	○	
2	印刷枚数の削減 （廃棄物排出量の削減）		枚/百万円/人	(6.74)	△1% 6.67 (5.51)	○
			枚	(364,217)	360,575 (297,838)	○
3	使用水量の削減		m ³ /百万円/人	(0.0256)	△1% 0.0253 (0.0229)	○
			m ³	(1,381)	1,367 (1,236)	○
4	資格取得の取組（取得率）		%	(8.6%)	9.0% (8.5%)	×
5	地域貢献		件数	(6件)	9件 (9件)	○
6	会社PR		件数	(4件)	3件 (5件)	○
4	安全運転推進（無事故無違反）		件数	(3/3件)	3/3件 (2/3件)	×
売上高			百万円	730	853(予想)	

※赤字は売上高/従業員数を分母とした原単位での数値（2025年度の売上高は3月末時点の予想金額）

※電気事業者の二酸化炭素排出係数（調整後）は、本社と広島事務所が0.551 kg-CO₂ /kWh（中国電力2022年度実績）を適用しています。

環境経営計画、取組結果と評価、次年度の取組内容

取り組み計画		達成状況	評価結果と次年度の取組内容
1	二酸化炭素排出量の削減		目標達成
1-1	電気使用量の削減		目標達成
	・昼休み消灯	◎	社内で徹底して実施。今後も継続して取り組む。
	・照明および空調の部分使用 (残業、休日、不在時など)	◎	社内で徹底して実施。今後も継続して取り組む。
	・空調の適温化の徹底	○	空調温度の見直しを実施し、社内で徹底している。 引き続き、継続的に実施していく。
	・空調フィルターの定期清掃	◎	夏季・年末に定期清掃を実施。
	・電気等消し忘れ防止	◎	各部署で退社時チェックリストによる確認を実施。 階段・廊下は自動制御による管理で消し忘れを防止。
	・照明の間引き	○	階段や廊下の照明は、必要最低限の明るさに調整。
	・高効率設備への更新	◎	設計調査部の冷蔵庫を最新の省エネタイプへ買い替え。 次年度は他部署の冷蔵庫買い替え案を作成予定。
1-2	燃料使用量の削減		目標達成
	・エコドライブの励行	○	燃費使用量について社内回覧し、エコドライブを啓発した。継続して行っていく。
	・月一の空気圧の確認	×	結果が表れなかったが取り組みとして大切であるため今後も継続していく。
	・無駄な積載禁止の啓発	○	燃費改善のための重要項目であると認識しているため、継続して行っていく。
2	印刷枚数の削減		目標達成
	・印刷ミス防止	×	印刷前の確認を具体的に啓発していく。
	・両面印刷の推進	○	各部署で実施。継続していく。
	・裏紙の使用	○	各部署で実施。継続していく。
	・FAXおよび社内でのやり取りの際、PDFを活用するよう呼びかけ	○	IT担当室も取り組んでいるペーパーレス化を継続していく。
3	使用水量の削減		目標達成
	・節水活動の推進	○	啓発活動を実施。今後も継続して取り組む。
	・水の再利用	◎	純水製造装置からの排水をグリーンカーテンの水やりに使用した。
	・止水忘れ防止	◎	各部署で退社時チェックリストによる確認を実施。

達成状況の判定・・・◎：よくできた、○：できた、×：あまりできなかった

取り組み計画		達成 状 況	評価結果と次年度の取組内容
4	資格取得の取組		目標達成
	・受験スケジュール管理,新規資格試験の発掘	◎	デスクネットで資格情報を発信、スケジュール表の試験日程を更新した。
	・合格お祝い報告	◎	資格情報発信時に、その月の合格者報告を行った。引き続き実施。
	・勉強会の実施	◎	試験概要の説明会、個別指導、参考書貸与等の取組みを実施した。
5	地域貢献		目標達成
	・社会貢献として市や県の活動に参加	◎	社外活動として「リフレッシュ瀬戸内海岸清掃」「小野湖清掃活動」「中川河口ヨシ原の清掃活動」の3件に参加。また、里親認定道路の清掃活動を6回実施。今後も引き続き、県を主体とした活動に積極的に参加し、社会貢献に努める。
6	会社PR		目標達成
	・社員通信等の発行	◎	目標3件に対し、5件投稿。引き続き実施する。
7	安全運転推進		目標達成
	・無事故無違反コンテストへの参加及び達成	◎	参加3チーム中、2チームが無事故・無違反達成、1チームは残念ながら達成できなかった。2026年度もコンテストに参加予定。

達成状況の判定・・・◎：よくできた、○：できた、×：あまりできなかった

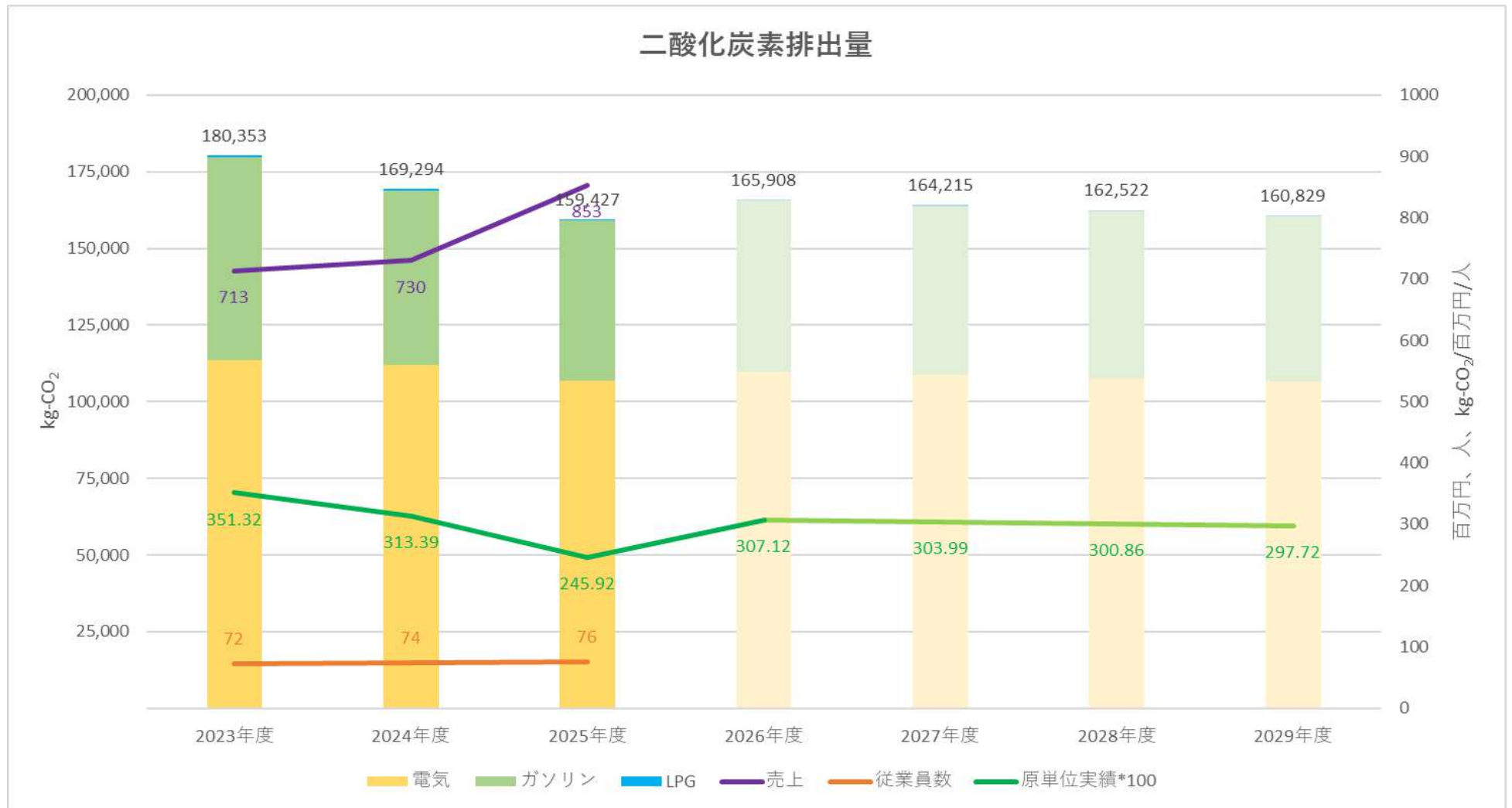
※原単位は、基準年度の売上高を分母に評価しています。 2024年度（基準年度）の売上高：730百万円、従業員数：74人

※分析用試薬等で毒劇法・P R T R法対象化学物質を使用していますが、年間取扱量が少なく、かつ、JISによって定められた必要使用量を適正管理をしているため、化学物質使用量削減の目標は掲げません。

※電気事業者の二酸化炭素排出係数（調整後）は、本社と広島事務所が0.551 kg-CO2 /kWh（中国電力2022年度実績）を適用しています。



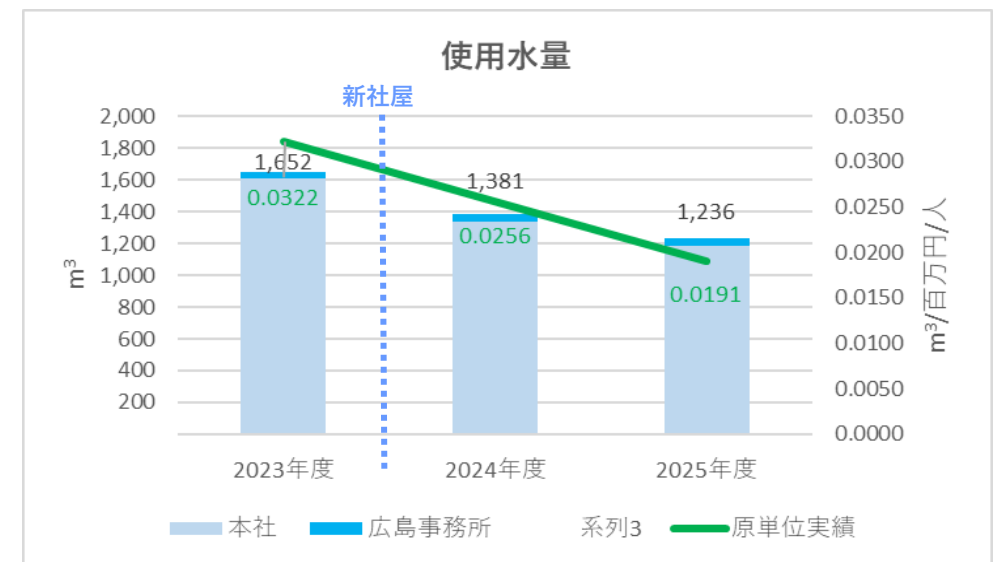
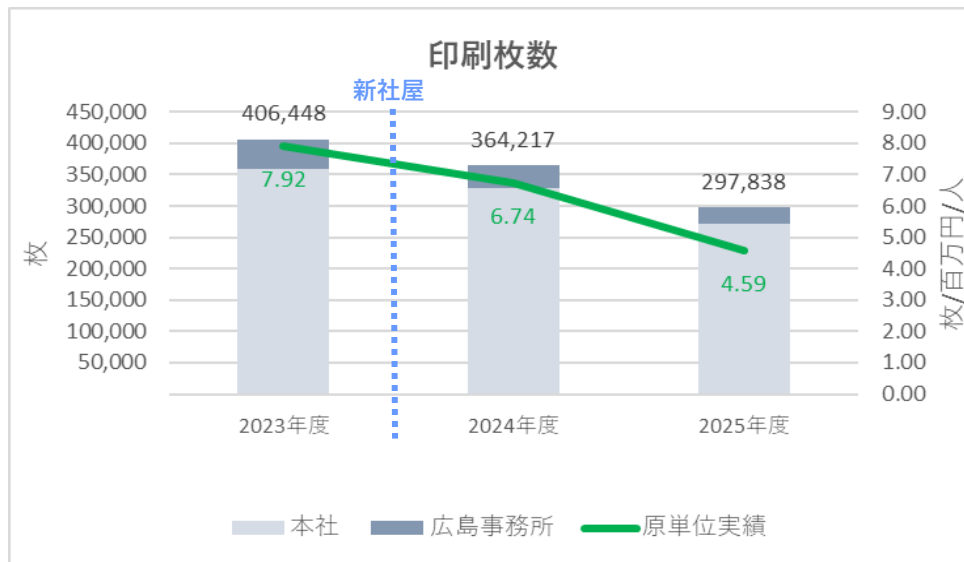
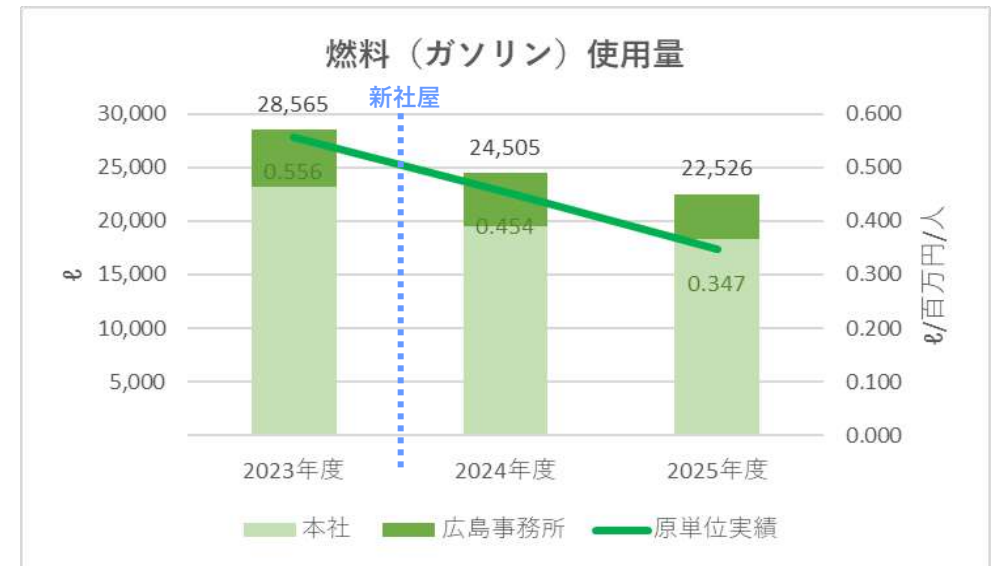
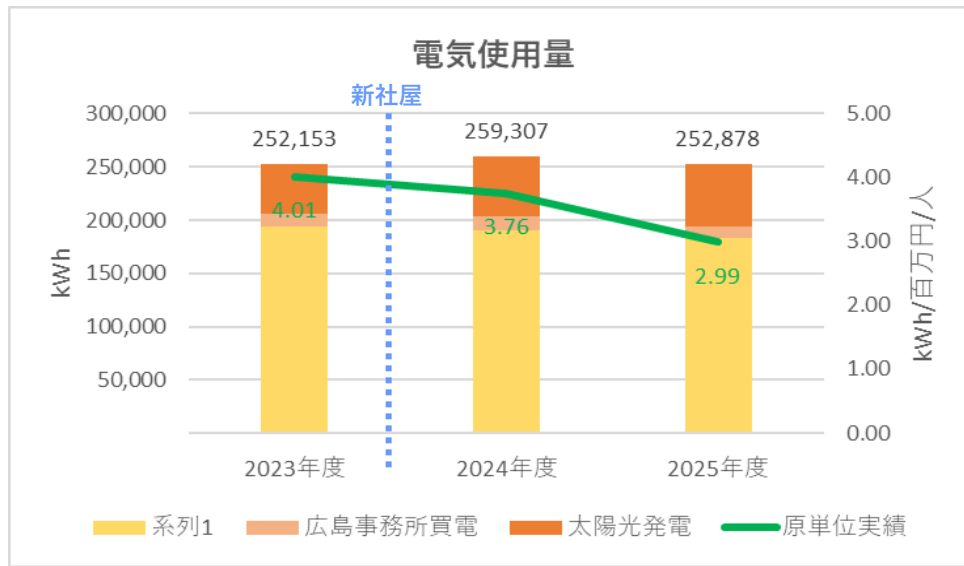
環境負荷削減の概況



二酸化炭素排出量を2029年度には、2024年度の実績数値の5%削減を目標に掲げます。

原単位の数値をグラフ上で見やすくするために、100倍にしています。実際はグラフの数値の1/100です。

環境負荷削減の概況



二酸化炭素排出量の削減



取組の内容

- ・エコ活動やエコ意識の啓発、改善活動
- ・クールビズ・ウォームビズ
- ・エコドライブ
- ・グリーンカーテン
- ・ライトダウン



プランターの収穫物（ナス、キュウリ等）

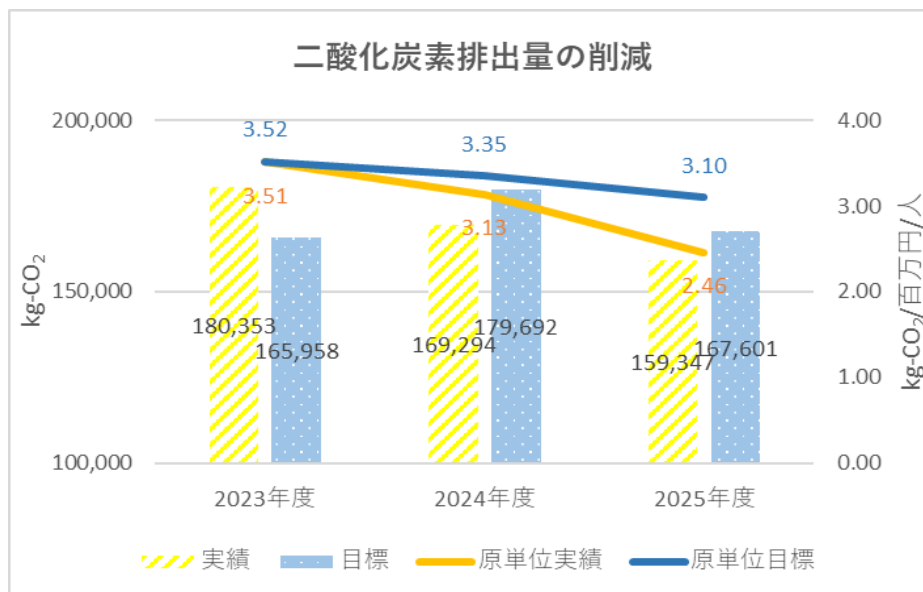
グリーンカーテン

結果及び評価

二酸化炭素排出量は、電気・燃料・LPGの使用量から算出します。

今期の二酸化炭素排出量は、前期と比べ5.9%の減少となり、目標数値を4.9%下回って達成できました。さらに、売上高を分母とした原価単位比較では20.0%の削減となりました。

前期からの改善が図られたことは、日常的なエコ活動や社員の環境意識の定着による成果と評価できます。



次期の取組

これまでの活動を維持・強化するとともに、さらなる削減に向けて設備の省エネ化、再生可能エネルギーの活用など、より実効性のある施策に踏み出していきます。引き続き、社員一人ひとりの意識と行動を基盤とした取り組みを推進し、持続可能な事業運営と環境負荷低減の両立を図っていきます。

電気使用量の削減

13 気候変動に
具体的な対策を



取組の内容

- ・太陽光発電および発電電気の社内使用
- ・昼休みの消灯、照明及び空調の部分使用・間引き
- ・電気等消し忘れ防止のためのチェックリスト点検
- ・エアコン温度設定の周知
- ・空調フィルターの定期清掃
- ・高効率設備への更新



高効率設備への更新(冷蔵庫)

退出時チェックリスト (設計課査閲)

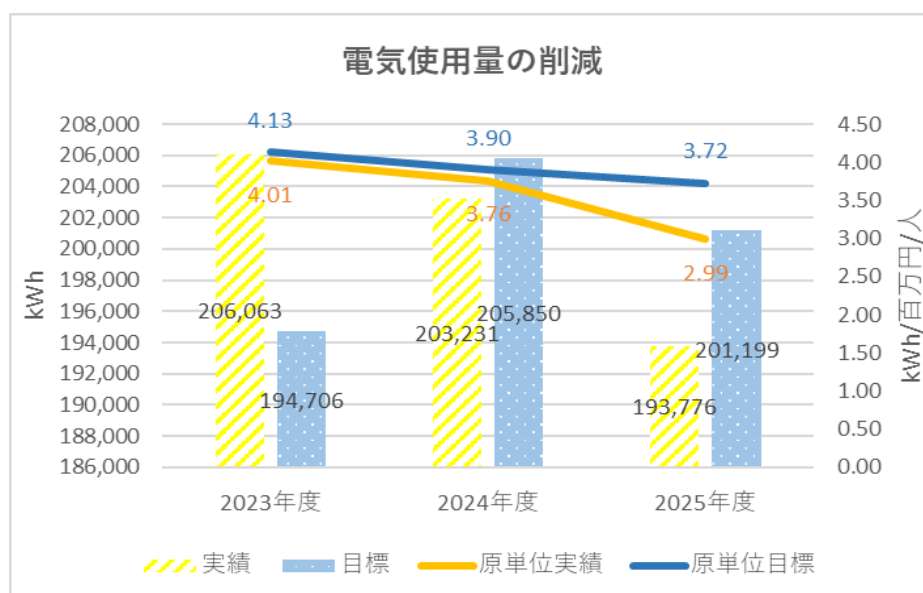
2024年度 2月

項目	確認	担当者
1. 消灯		
2. 空調		
3. 照明		
4. 電気		
5. 空調		
6. 照明		
7. 電気		
8. 空調		
9. 照明		
10. 電気		
11. 空調		
12. 照明		
13. 電気		
14. 空調		
15. 照明		
16. 電気		
17. 空調		
18. 照明		
19. 電気		
20. 空調		
21. 照明		
22. 電気		
23. 空調		
24. 照明		
25. 電気		
26. 空調		
27. 照明		
28. 電気		
29. 空調		
30. 照明		
31. 電気		
32. 空調		
33. 照明		
34. 電気		
35. 空調		
36. 照明		
37. 電気		
38. 空調		
39. 照明		
40. 電気		
41. 空調		
42. 照明		
43. 電気		
44. 空調		
45. 照明		
46. 電気		
47. 空調		
48. 照明		
49. 電気		
50. 空調		
51. 照明		
52. 電気		
53. 空調		
54. 照明		
55. 電気		
56. 空調		
57. 照明		
58. 電気		
59. 空調		
60. 照明		
61. 電気		
62. 空調		
63. 照明		
64. 電気		
65. 空調		
66. 照明		
67. 電気		
68. 空調		
69. 照明		
70. 電気		
71. 空調		
72. 照明		
73. 電気		
74. 空調		
75. 照明		
76. 電気		
77. 空調		
78. 照明		
79. 電気		
80. 空調		
81. 照明		
82. 電気		
83. 空調		
84. 照明		
85. 電気		
86. 空調		
87. 照明		
88. 電気		
89. 空調		
90. 照明		
91. 電気		
92. 空調		
93. 照明		
94. 電気		
95. 空調		
96. 照明		
97. 電気		
98. 空調		
99. 照明		
100. 電気		

結果及び評価

今期の電気使用量は、前期と比べ4.7%の減少となり、目標数値を3.7%下回って達成できました。さらに、売上高を分母とした原価単位比較では19.6%の削減となりました。

年々社員が増加している条件下にもかかわらず、原単位の継続的な改善と電気使用量の抑制が両立しており、日常的な取組が着実に成果を上げていると評価できます。また、社員一人ひとりの行動変容が全体の削減効果に寄与しており、省エネルギー意識の社内定着も着実に進んでいると思います。



次期の取組

これまで積み重ねてきた軽微な節電対策は概ね実施し尽くしており、今後はさらに一步踏み込んだ省エネルギー活動の展開が求められます。ソーラーパネルの増設や蓄電池の導入による再生可能エネルギーの最大活用、高効率設備への更新など設備面から総合的な取組を進めていきたいです。

燃料（ガソリン）使用量の削減



取組の内容

- ・エコドライブの励行
- ・月1の空気圧の確認
- ・無駄な積載禁止の啓発

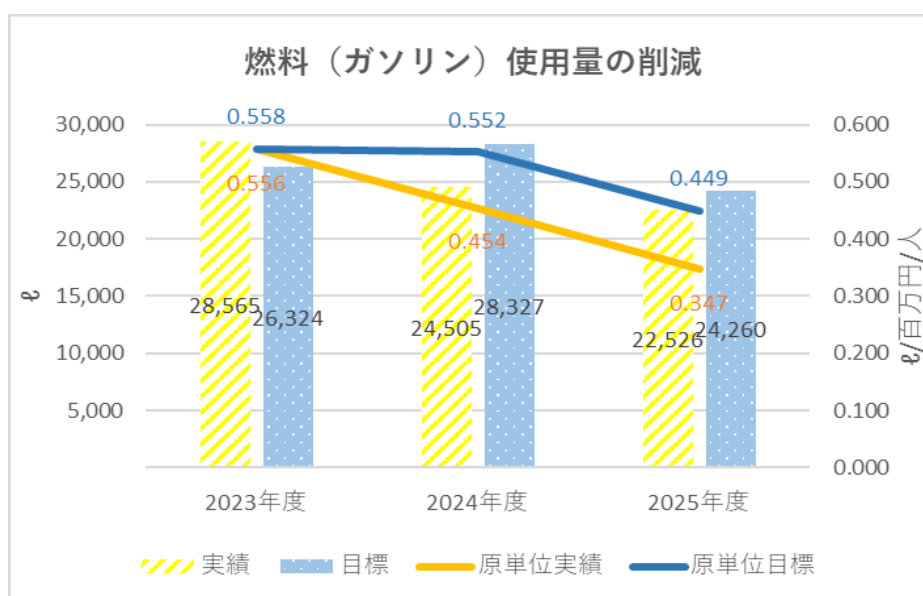


タイヤ空気圧点検の様子

結果及び評価

今期の燃料使用量は、前期と比べ8.1%の減少となり、目標数値を7.1%下回り目標達成となりました。さらに、売上高を分母とした原価単位比較では23.6%の削減となりました。

自動車ごとの燃費や省エネのエコドライブのポイント等の回覧による啓発活動の成果であると考えられます。



次期の取組

今期の使用量、燃費データに基づき、効果的な啓発活動に取り組めます。

印刷枚数の削減

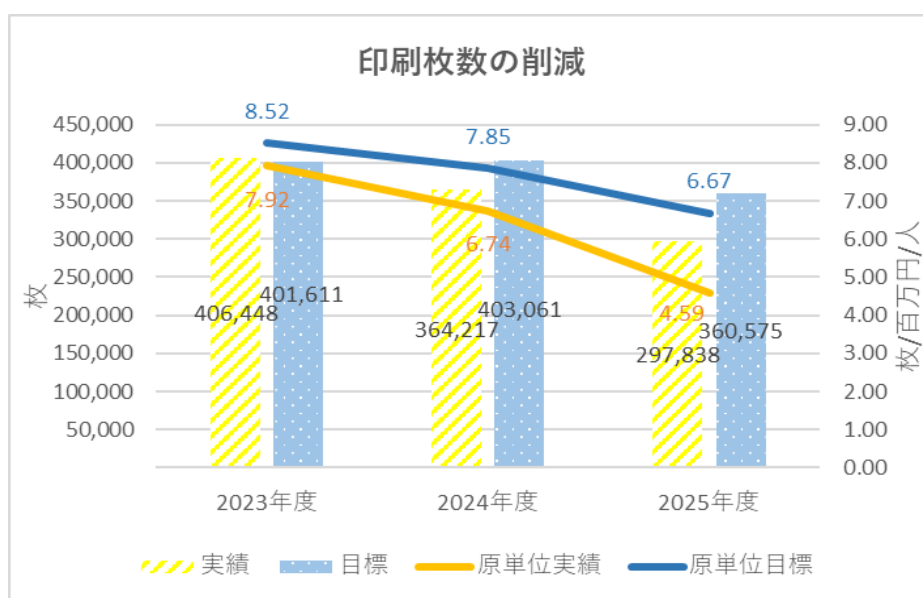


取組の内容

- ・印刷枚数の削減を社内ネットワークで呼びかけ（印刷ミス防止、両面印刷、裏紙使用）
- ・FAX及び社内でのやり取り等PDFを活用して行うよう周知

結果及び評価

今期の印刷枚数は、前期と比べ18.2%の減少となり、目標数値を17.4%下回って達成できました。さらに、売上高を分母とした原価単位比較では31.1%の削減となりました。IT技術での削減推進や裏紙使用の啓発を前期から継続して実施しました。これらの活動の成果により削減及び目標達成ができたと考えられます。



次期の取組

IT機器を積極的な活用および削減の啓発により、継続して目標達成となる様努めます。

使用水量の削減



取組の内容

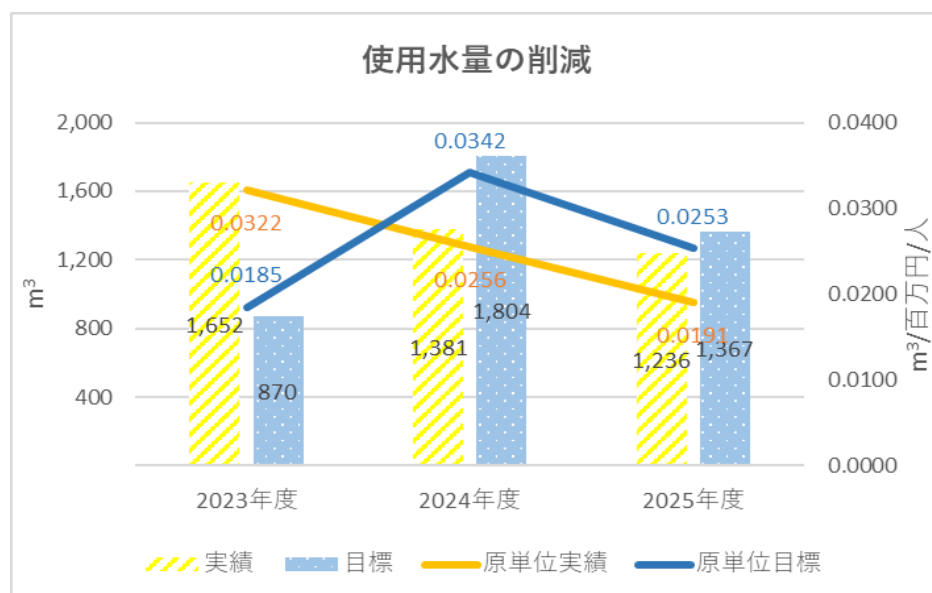
- ・ 節水の呼びかけ(トイレレバーの使い分けおよび蛇口閉め忘れの注意喚起)



結果及び評価

今期の使用水量は、前期と比べ17.7%の減少となり、目標数値を16.9%下回って達成できました。さらに、売上高を分母とした原価単位比較では30.8%の削減となりました。

使用量・原単位ともに目標達成、かつ前年度比で改善されました。日常的な取り組みの成果が明確に表れており、今後も継続的に現在の活動を実施していきたいと思います。



次期の取組

これまで実施してきた軽微な節水活動は一定の成果を上げ、現在ではその多くが定着・徹底されており、追加の効果が見込みにくい状況となっています。今後は、さらなる削減を図るために雨水の活用や月末水道メーターチェックといった、より実効性の高い施策に取り組んでいきたいです。

資格取得の取組



取組の内容

- ・試験日程と合格報告の周知
- ・勉強会等の実施（講習会、勉強指導、参考書貸与）



講義の様子（技術士補対策）



講義の様子（環境計量士対策）

結果及び評価

2025年度は会社指定の資格合格取得者は17名（下の太字）で、前期より0.1%ダウンの8.5%であり、残念ながら目標の9.0%には届かず目標達成はできませんでした。しかし、受験意向の聞き取り調査によると若手社員から管理職まで幅広く資格試験を受験する人が増えてきています。

56期取得資格

- | | |
|-----------------------|--------------------|
| *技術士補（上下水道） 1名 | *測量士 1名 |
| *技術士補（建設） 1名 | *測量士補 3名 |
| *自然再生士 1名 | *第二種作業環境測定士 1名 |
| *環境計量士（濃度） 1名 | *無人航空従事者試験3級 1名 |
| *MOS エキスパート（Excel） 1名 | *建設業経理士1級 1名 |
| *MOS エキスパート（Word） 1名 | *公害防止管理者（特定粉じん） 1名 |
| *情報セキュリティマネジメント試験 1名 | *港湾海洋調査士補 1名 |
| *斜面判定士 1名 | |
| *環境測定分析士3級 1名 | |
| *色彩検定3級 1名 | |

次期の取組

引き続き、同様の活動をしていきます。

資格支援では、社員のみなさんが欲しい情報をいち早くキャッチし、しっかりと発信していきたいと思えます。また資格取得率を達成できるように、資格支援委員会が先頭に立って、がんばります。

今後も、講義や勉強指導、参考書貸与等の取組みをしていこうと考えています。

地域貢献



取組の内容

- ・ボランティア活動への参加
- ・市道里親清掃の実施（6回）



2025.6.8 リフレッシュ瀬戸内清掃活動のようす



2025.8.24 小野湖清掃活動のようす



2026.2.21 中川河口ヨシ原清掃活動のようす



2025.10.22 宇部市市道里親清掃活動のようす

結果及び評価

今期の地域貢献活動については、参加可能な案件は4件発案し、1件雨天中止、3件の参加となりました。宇部市道路里親清掃活動は、2025年5月に道路里親認定を受け、清掃活動を6回実施しました。活動自体は積極的に行えたものと評価しています。

次期の取組

SDGsにあります「住み続けられるまちづくりを」。これが私たちの活動により、少しでも地域に貢献し、より良い環境にしていければと思っております。

今後も引き続き山口県を主体とした活動へ積極的に参加し、社会貢献に努めます。

取組の内容

- ・社内ブログの更新（計9件）
- ・社員通信の発行（計5件）
- ・献血の呼びかけ（2025年9月と12月、2026年3月に実施しました）



社内ブログ



社員通信



やまぐちメタワールド3での当社動画の一部

結果及び評価

今期は各部から数名が集まり結成した「ホームページ委員会」主導のもと、会社ホームページの更新とブログの投稿を行いました。

また、ホームページに新たに5件の社員通信を掲載しました。今期の目標は3件だったため、目標件数を上回って達成することができました。

献血についても、今期は10月と1月に実施し社内からは計17名、社外からは計8名、合計25名から過去最多のご協力をいただきました。（延べ人数）

若い世代に向けた、山口県内のお仕事や魅力をゲーム感覚で学べるメタバース「やまぐちメタワールド3」の当社出展ブースにはたくさんの訪問がありました。

次期の取組

来期は、継続的な情報発信を通じてホームページの魅力と鮮度を高め、「見てもらう場」から「選ばれるきっかけ」へと価値を高めることで、人材確保及び当社の認知拡大につなげてまいります。

安全運転推進



取組の内容

- ・無事故・無違反コンテスト（山口県主催）への参加

交通安全意識と交通マナーの向上及び安全運転意識の習慣化を目指して、弊社では2020年から参加しています。2025年度も、本社の委員会ごとに分けた5人1組のチームで3チーム参加しました。

2025年度の参加チーム

- ボランティア委員会
- エコどら（エコ委員会）
- 資格支援委員会

結果及び評価

参加した3チーム中、2チームが無事故・無違反を達成しました。

次期の取組

安全衛生委員会では、参加チームに限らず従業員全員が年間通して無事故無災害を達成できるよう、引き続き安全運転の呼びかけを行っていきます。2026年度も無事故・無違反コンテストに参加予定です。



その他の取組：緊急時対応訓練



取組の内容

緊急時対応訓練は、火災の発生を想定して本社が2025年5月26日に、広島事務所は2025年6月19日に実施しました。

本社



救護訓練の様子



点呼の様子

広島事務所

- ①事務所 給湯室のコンセントより出火。
- ②第一発見者Aが、事務所社員に知らせる 「火事だ！」。
- ③事務所社員は指定避難場所に避難開始。
事務員Bは会社貴重品類（通帳、社員等）を携帯して避難
- ④避難場所にて所長Cが社員の安否確認・消防署へ通報（模擬）
- ⑤所長Cが火災発生状況等を本社総務部へ連絡（模擬）

消火器設置場所【事務所】



消火器設置場所【建屋2階】



点呼、安否確認【1階駐車場】



結果及び評価

本社

1 階化学試験室 1 での爆発事故発生を想定、連絡を受け直ちに館内放送を行いました。換気のために試験室の排煙窓を開ける予定でしたが、開けることができませんでした。救護係 2 名は現場に駆けつけるのに少し時間がかかったように思われますが、有毒ガスの発生等に備えてヘルメット、ガスマスクの着用がしっかりできていました。模擬で負傷者の救助を行い、誘導係の指示で館内社員は全員避難しました。通報係は前回の反省から、避難後に携帯電話から 119 番通報を行いました。事故発生から 4 分 30 秒後、駐車場に全員が避難完了しました。歩いてのんびり避難している者が見受けられたため、避難完了までの時間はもう少し短縮したいところです。また、館内放送や非常ベルの音が聞こえない場所があったため、次回の訓練までに改善する必要があります。

広島事務所

火災に対しては、消火器及び警報設備の設置場所と使用期限、実際の避難場所の再確認を行いました。南海トラフ地震では高さ 8m 程度の津波の発生が予想されており、地震発生から津波到着時間が比較的短いこともあり、近隣の 7F 建て以上のビル（市が指定している津波時の緊急避難先高層建物含む）の位置を確認しました。

避難訓練時は速やかかつ安全に避難、確認（点呼）を行いました。

事務所外の避難通路である廊下及び階段は広く、また滑りにくくなっていることを再度確認しました。冷静に避難を行えば避難時の事故等は発生しにくいものと考えられます。

次期の取組

本社

今期は「環境上の事故及び緊急事態の想定」として、数年ぶりに分析室での事故を想定した訓練を実施することができました。次期は BCP を策定するため、災害を想定した訓練を実施します。今期の訓練で得られた気づきを活かし、より充実した訓練ができるよう努めていきます。

広島事務所

広島事務所周辺はほぼ海拔 0～4m レベルであるため洪水による浸水被害にあいやすい地形になっています。洪水が予想される場合の社用車の避難場所（高台にある自宅や公園など）を決めておくことで被害を低減できるのでこれらの検討を行います。

環境関連法規等の遵守状況・違反、訴訟の有無

環境関連法規等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規の逸脱はありませんでした。訴訟等については過去5年間に渡りありません。

法律名等	適用対象	適用条項	遵守状況
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	事業系	・処理の委託先および委託の基準 法第6条の2（市町村の処理等）第6項、第7項（施行令第4条の4）	（確認） 本社運搬委託先：(有)GKサービス 広島事務所運搬委託先：共栄美装(株)
	産業廃棄物	・保管基準 法第12条（事業者処理）第2項（施行規則第8条）、第3項、第4項 法第12条の2（事業者の特別管理産業廃棄物に係る処理）第3項、第4項	（確認） 保管場所、保管方法を確認。
		・産業廃棄物管理票（マニフェスト） 法第12条の3第1項（施行規則第8条の21）、第6項（施行規則第8条の26）、第7項（施行規則第8条の27） 施行規則第8条の20 法第12条の3第8項（施行規則第8条の28、第8条の29）	（確認） 環境部の管理票交付は適正。 保存期間ok。 報告書の提出されている。
		・委託契約 施行令第6条の2（事業者の産業廃棄物の運搬、処分等の委託の基準） 施行規則第8条の4（委託契約書に添付すべき書面） 施行規則第8条の4の2（委託契約に含まれるべき事項） 施行規則第8条の4の3（委託契約書の保存期間）	（確認） 契約書等保存されている。 運搬委託先①：ミツヤ工業(株) 処分委託先①：(株)宇部スチール 運搬委託先②：両備トランスポート(株) 処分委託先②：共英製鋼(株) 運搬・処分委託先③：都市産業(株) 運搬・処分委託先④：ジャパンウエイスト(株) 処分委託先④：野村興産(株) 運搬委託先⑤：九州運輸建設(株) 処分委託先⑤：光和精鉱(株) 広島事務所運搬委託先：共栄美装(株) 広島事務所処分委託先：安田金属(株)
毒物及び劇物取締法	化学物質	法第11条(毒物又は劇物の取扱) 法第12条第1項、第3項（毒物又は劇物の表示） 法第15条の2（廃棄）（施行令第40条） 法第16条の2（事故の際の措置） 法第22条（業務上取扱者の届出等）第5項	・毒物劇物業務上取扱者であるが下記以外のため届出は必要ない。 施行令第41条、第42条 （電気メッキ業者、金属熱処理業者、運搬業者、シロアリ駆除業者） （確認） 保管場所、方法を確認。
化学物質管理促進法（PRT法）	化学物質	法第5条（排出量等の把握及び届出）第2項、第3項 施行令第3条（業種） 施行令第4条（第一種指定化学物質等取扱業者の要件）第1項、第2項	・年間取扱量が法定数量に満たないため届出は不要である。 （確認） 56期(2025年4月～2026年3月)の化学物質使用量確認（152.23kg）
消防法及び宇部・山陽小野田消防組合火災予防条例	危険物	指定数量未満の危険物：条例第30条	・危険物（消防法別表1）の取扱は指定数量（危険物の規制に関する政令 別表第3）の5分の1未満である。 （確認） ストック量を確認。

法律名等	適用対象	適用条項	遵守状況
下水道法	洗浄施設	・ 法第11条の2、3 ・ 法第12条 ・ 法第12条の2、9、12 ・ 除外施設設置条例	・ 届出（確認） ・ 水質測定記録（確認）
水質汚濁防止法	洗浄施設	・ 特定施設等の設置、構造等の変更、廃止の届出 第5条第3項、第7条、第10条 ・ 有害物質使用特定施設等に係わる構造基準等の遵守義務 第12条の4 （施設本体の床面及び周囲の構造等）施行規則第8条の3 （配管等の構造等）施行規則第8条の4 （排水溝等の構造等）施行規則第8条の5 （使用の方法）施行規則第8条の7 ・ 排出水の汚染状態の測定等 第14条第5項 （点検事項及び回数）施行規則第9条の2の2 （点検結果の記録及び保存）施行規則第9条の2の3	・ 届出（確認） ・ 構造遵守（確認） ・ 定期点検（確認）
フロン排出抑制法	業務用空調機器および冷凍冷蔵機器	・ フロン類の放出禁止 法第86条 ・ 管理者判断基準の遵守 法第16条第1項 告示第13号 第一種特定製品の管理者の判断基準となるべき事項 第一 設置及び使用環境の保全に関する事項 第二 点検に関する事項 第三 フロン類の漏えい時の措置 第四 点検及び整備に係る記録等に関する事項	（確認） ・ 簡易点検 簡易点検の実施を確認。 ・ 定期点検（空調機器） 対象なし ・ 定期点検（冷蔵冷凍機器） 対象なし
		・ フロン類算定漏えい量の報告 法第19条、省令第二号 フロン類算定漏えい量等の報告等に関する命令	（確認） - 漏えいなし
		・ 製品廃棄時のフロン類の引渡し 法第41条 ・ 廃棄等実施者の行程管理票制度に基づく書面の交付・保存 法第43条第1項、第2項、第3項、（施行規則第32条） ・ 引取証明書 第45条第3項、第4項	（確認） 1台廃棄 （工程管理票を保存）

代表者による評価と見直し

全体評価

新社屋への移転に伴い策定した新基準（売上高や人数を考慮した評価軸）により前年比較が明確になり、厳しい環境下でも「環境投資」と「会社の利益」を両立できたことは大変良い結果です。紙の使用量削減は、報告書やシステムの見直しによる現在の方向性で良い結果が出ています。さらに進めていきましょう。今期は多くの資格が取得でき、素晴らしい成果となりましたが、まだまだ不足です。発注者からのさらなる評価向上を目指し、必要な資格の取得を最優先し、社内講習会や教育の機会を増やし、積極的な挑戦を後押ししてください。また安全面については、安全装置等の設備投資に加え、社内教育による意識向上も必須と考えます。さらに、業務効率化や働き方改革を推進するため、AI技術の活用も積極的に検討・導入した結果、良い方向性が示せていると考えられます。環境経営システムを有効に機能させSDGsの精神を実現するため、システムの変革、新事業の推進、社会奉仕活動等を通じて地域に貢献し、より働きやすく、周囲から高く評価される企業を目指しましょう。

見直し及び指示

見直し項目		変更の必要性・指示
1	環境経営方針	基本理念に変更はありません。
2	環境経営目標	特に変更はありません。
3	環境経営計画	新しい基準と目標を設定して1年が経過しました。多くの目標で成果が出ていることは一歩前進ですが、資格取得についてはさらに努力が必要です。今後はガソリン使用量のさらなる削減に向け、手法の検討を深める必要もあります。新規車種の選定においては、ハイブリッドや電気等を最優先とし、安全装置の搭載も必須とします。資格取得に関しては、業務に必要な資格を最優先とし、会社の信頼や能力をさらに高める取り組みを進めます。そのために社内講習会を開催して勉強の機会を増やし、社員が取得に積極的になれる環境を整えます。さらに、業務効率化や働き方改革を推進するため、AI技術の活用も積極的に検討・導入していきます。これからも社内環境を整え、働き方改革を推進し、より「働きやすい会社」を目指して取り組みます。
4	実施体制	委員会リーダーやメンバーは、人材の育成も進めてください。

2026年5月29日

代表取締役 石崎一雄